19



制作意図	愛知の象徴「金の鯱鉾」と信長の「兜」を融合したデザインです。信長は楽市楽座などの経済改革を行い、成果に見合う対価を与えることで人々の働く士気を高めました。この「適正な対価が経済とやる気を回す」という信長の理念を、現代の最低賃金改定に重ね合わせ、「いざ、時給改正！」の言葉とともに視認性を高めて表現しました。